

## 令和六年度 和歌山工業高等専門学校 入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学、誠にありがとうございます。

すべてのものが清らかで命輝く頃となりました、このよき日に、和歌山工業高等専門学校における令和六年度の入学式を挙行できますことは、本校のすべての教職員にとりまして大きな喜びです。

本日、本科新入生百六十名、専攻科新入生二十名、留学生二名、あわせて百八十二名を新たに本校にお迎えすることができました。

皆さんはこの数年間、新型コロナウイルス感染症により、今までの日常にない不測の事態に直面し、行動制限、オンライン授業など様々な制約を受け、不自由な毎日を過ごすことを余儀なくされましたが、その過酷な状況を乗り越え、本校への入学を果たしました。

私をはじめ教職員一同、素晴らしい経験を有する皆さんに敬意を表しますとともに、心から歓迎いたします。保護者、ご家族等の御関係の皆様には、お祝いを申し上げますとともに、ご列席いただきましたことに感謝申し上げます。

御来賓の皆様におかれましては、ご多用にもかかわらず、入学式にご臨席を賜りまして厚く御礼申し上げます。また、日々、本校に対し多大なるご支援・ご理解をいただいておりますことに、重ねて心から感謝いたします。

高等専門学校は、五年一貫の早期からの実践教育により、高度な専門技術者を育成する大学等と同じ高等教育機関です。このため、本科新入生、留学生におかれましては、本校で学ぶ際には、高校ではなく、大学で学ぶことと同様であるということに留意してください。皆さんを、「生徒」ではなく、「学生」として迎えます。明確な目的意識を持って自主的に、教員から知識や技能を十分に吸収し、深く探究しようとする、積極的な姿勢を持つようにしてください。

また、皆さんには、工学分野の専門的な知識や技術はもちろんのことですが、本校で体系的に提供する人文科学や社会科学に関する教科を確実に学んでください。これらは人間観、世界観といった私たちの社会の根本を支えている学問で、リーダーとなるために不可欠な教養です。

専攻科新入生におかれましては、今までの経験を踏まえ、さらに高度な研究活動に取り組み、学位の取得を目指してください。

さて、『『モノづくり』から『コトづくり』へ』という言葉をよく耳にするのではないかと思います。一昔前までエンジニアは、より高性能・高品質をモットーに「モノづくり」に専念すれば成果に直結する時代でした。しかし、現下の日本を取り巻く状況は社会経済の変化や国際化の進展、生成型 AI の登場など科学技術の著しい進展などにより大きく変貌しています。

このような変化の時代で活躍できるエンジニアになるために、「モノづくり」力にプラスして、「ユーザーはもちろんのこと企業や他の関係者全体のニーズを考慮し、イノベーション・新規分野の開拓」を志す「コトづくり」力を併せ持つことを目指してください。本校では、産業界をリードする技術者育成のためのカリキュラムを土台とし、社会の課題を解決し新たな価値を創造していくためのアントレプレナーシップ、起業家精神を学ぶ機会を設けていますので、是非とも意欲的に取り組んでください。優秀な教員による教育がなされますので、日々、しっかりと勉学・研究に打ち込めば必ず修得できます。そして、今後、皆さんは本校での学びで得た力、技術力を活用して地元和歌山県や御坊市をはじめ、日本全国、世界の発展のために活躍いただきたいと期待します。

さらに、学校行事やクラブ活動、学内外のコンテストや学会発表などにも積極的に参加してください。様々な教員や友人、外部有識者などと幅広く交流する経験は、社会人となっても忘れ難い大切な財産となります。

最後になりますが、和歌山高専における皆さんの学生生活が、心身ともに充実した実りあるものになることを願い、お祝いと歓迎の挨拶といたします。

令和六年四月七日

和歌山工業高等専門学校長 井上 示恩